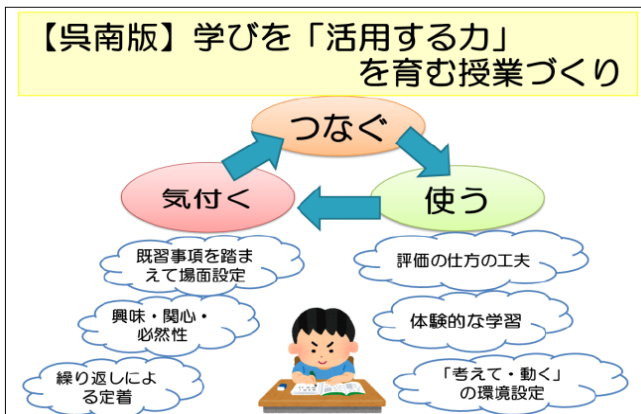


# 呉南版「学びの革新」アクション・プランに関する校内研修

## 1 呉南版 学びを活用する力を育む授業づくり



本校では、図1のように授業改善を進めています。幼児児童生徒が学びに「気付く」、それらを「つなぐ」、新たな場面で「使う」という授業展開を単元内や単元間でも意識することにより、幼児児童生徒の思考力や学びを活用する力の更なる育成を図っています。

7月26日の校内研修では、実践例をもとに「気付く」「つなぐ」「使う」場面における具体的な姿を提示しました。(図2)

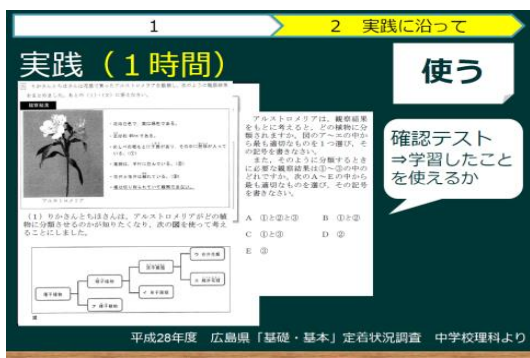


図2 『使う』場面における生徒の具体的な姿

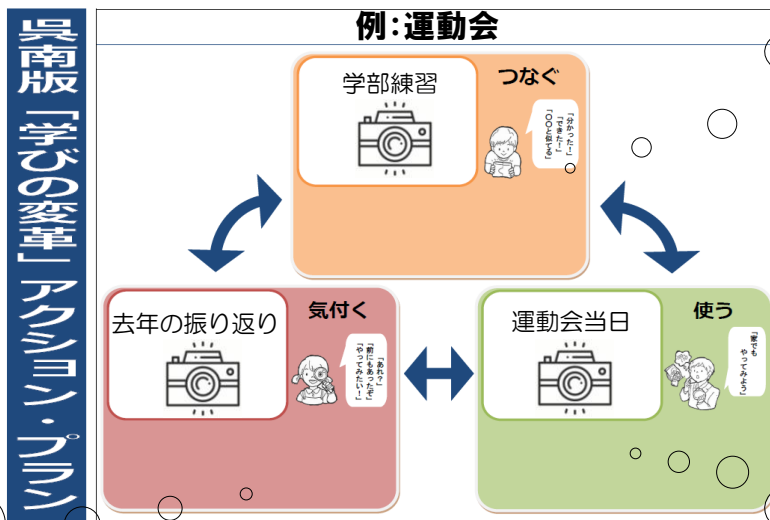


図3 「イラストや子どもの姿」

その際、図3のように3つのキーワードに合わせたイラストやそれぞれの場面で引き出したい幼児児童生徒の姿、発言も提示することで、教職員の共通認識を更に深めることができました。

## 2 今年度の取組

今年度は、3つのキーワードの活用場面を学校行事や児童生徒会活動、衛生指導（手洗い）、進路学習等、更に広げて取り組んでいきます。



「次はもっと上手に踊れるようになりたいな!」

「今年は、どんなダンスをするんだろう? 楽しみだな♪」

「緊張したけど最後まで諦めずに頑張ったよ」